

2015 年 6 月 26 日

各 位

SBSフレック株式会社


SBSフレックの低温食品物流のノウハウを講演 ー低温物流の品質管理と物流品質向上の取組事例をご紹介ー

当社は6月10日から11日の2日間に開催された「アジア・シームレス物流フォーラム2015」(株式会社流通研究社様主催)において、「SBSフレックの定温物流サービス コールドチェーンの取組み」をテーマに、セミナーを行いましたのでお知らせいたします。



当社は、食品に特化した総合物流企業です。このたびのセミナーでは、当社が最も得意とし、かつ非常にデリケートな食材である乳製品の物流品質向上のための取組みと、当社が開発したWMS(※)を活用したトレーサビリティを中心にご紹介いたしました。

品質管理の重要なポイントとして、商品により異なる設定温度や積み込み方法や管理の仕方をご紹介。単に運ぶだけではなく商品の特性を理解したうえで、これらを反映する出荷管理や配車管理のシステム活用など、SBSフレック独自のノウハウをお伝えいたしました。



満席のセミナー会場には、立ち見のお客様も。

**SBSフレックの低温物流サービス
コールドチェーンの取組み**


於「アジア・シームレス物流フォーラム2015」
6月11日(水)11:20~11:50/B会場

◆商品特性に合わせた「品温管理」が品質保持の原点。

設定温度の確認と取り扱い注意

- 品質管理において品質管理は最も重要です。
荷物を引取ってから引渡すまで、品質の保持に努めましょう。
- 商品の特性を理解し、商品を取扱いましょう。
- 保冷庫等の開閉は速やかに行ってください。
- 季節の温度変化に注意し、コンテナ内温度は表の適正温度が維持できる温度設定にしてください。(チルド品は商品が凍結しない設定を)

商品	温度帯	コンテナ適正温度	注 意 事 項
脱脂粉乳 粉ミルク	ドライ	常温	
牛乳	チルド	1℃~10℃	
マーガリン バター チーズ	チルド	1℃~10℃	
凍状ミルク	チルド	1℃~10℃	内装が破損されると危険。凍結防止剤(凍結防止剤)に注意。
冷凍子	チルド	1℃~10℃	衝撃に強く、くずれやすい。平積み。
アイスクリーム	フローズン	-23℃以下	急凍すると品質が低下。急凍しない。
冷凍食品	フローズン	-23℃以下	急凍すると品質が低下。急凍しない。
和洋食品	チルド	1℃~10℃	冷凍庫からの取扱い。冷蔵による品質劣化に注意(冷凍品)。



【講師】SBSフレック
営業統括部長 森田弘昭

講演の前後では、SBSグループのブースへ、食品物流に課題を抱える事業者様が多数来場され、当社の営業担当者や3PLコンサルタントと情報交換するなど、低温食品物流の専門性に多方面から強い関心が寄せられていました。

2013年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、和食や日本の食材への関心がますます高まっています。SBSフレックはSBSグループの海外展開に伴い、食品物流に特化した、冷蔵、冷凍、常温の3温度帯に対応する3PLサービスを通じて、アジア地域をはじめ世界中のお客様に豊かな食文化を享受いただけるよう貢献してまいります。

※WMS: Warehouse Management System の略。倉庫(在庫)管理システム。

以上

■ご参考

<SBSフレック株式会社概要>

本 社：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

代 表 者：代表取締役社長 渡邊 誠

創 業：1956年（昭和31年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率65.99%）

資 本 金：2億18百万円（2014年12月末現在）

売 上 高：420億円（2014年12月末現在、SBSフレックグループ連結）

従業員数：2,736名（2014年12月末現在、同上正社員・パート等含む）

事 業 所：北海道から九州まで全国に約70拠点を設置

関係会社：SBSフレックネット(株)

事業内容：旧雪印物流(株)の時代から約半世紀にわたって食品の低温物流を全国ネットで展開しています。2004年にSBSグループ入り。同グループの食品・3温度帯物流事業のコア会社として、食の安全をしっかりと守る物流品質で全国のお客様に輸送・保管・流通加工・センター運営などをご提供しています。また、物流全般を一括でお引き受けする3PLサービスにも注力しております。

U R L：<http://www.sbs-flec.co.jp>

■食品物流に関するお問い合わせ

SBSフレック株式会社

営業開発部 村上 哲生・佐藤 光也 TEL：03-3829-2058

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 南 輝子 TEL：03-3829-2240／e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。